

2025年度看護職員の負担の軽減及び処遇の改善に資する計画

看護職員と多職種との役割分担に伴う計画

R7・4月 騎西病院

部署	項目	現状の取り組み	2025年度の目標	目標達成のために必要な事項
薬剤部	病棟業務拡大 持参薬管理 与薬準備	①病棟定数在庫薬の管理・補充 ②自己管理可能な患者への服薬指導 ①入院患者の持参薬を鑑別・効能効果等、カルテ上で確認できるようにする ①注射薬払出しは患者ごとに ②内服薬はすべて一包化して配薬ケースへセット	概ね行えているので継続したいが 薬剤管理指導の件数を増やしたい 持参薬を看護師の方で管理した方が 良いもの以外はすべて薬局で一元管理 概ね行えている	管理指導件数は薬剤師の増員が必要
放射線科	検査時の準備や補助	検査の準備、検査中の補助 検査後の片付けの手伝い 看護師不足を補う	検査で使用する薬品の用意や 検査中の補助・後処理など 看護師資格がなくても、出来ることを手伝う	検査への理解 知識・技術の向上
検査科	心電図・超音波検査 で移動困難な患者は ベッドサイドで実施	移動困難な患者は積極的にベッドサイド で検査をする	引き続き移動困難な患者は ベッドサイドで検査をする	知識・技術の向上
臨床工学技士	オンコール体制による 夜間・昼間(日曜日)の透析 血液浄化療法の対応 手術室・高気圧酸素療法の対応	担当医(当直医)または病棟より オンコールにて対応	引き続きオンコール体制による 透析の血液浄化療法の対応を実施 手術室及び高気圧酸素療法の対応実施	臨床工学技士確保を目指す 高気圧酸素療法の対応ができる人員の教育
リハビリ テーション科	送迎の削減 ポジショニングの介助と支援 トイレでの排泄介助	病棟患者のリハビリをベッドサイドで行う ことにより、看護師等の送迎業務を軽減 ベッド上でのポジショニングの介助と支援を行う トイレでの排泄が行える患者には、リハビリ 介入時にトイレ誘導を行う	引き続き病棟患者のリハビリをベッドサイド にて実施継続 ベッド上でのポジショニングの介助・支援を実施継続 リハビリ介入時に積極的にトイレ誘導を 行い、看護師の負担軽減を図る	看護職員との連携
栄養課	栄養指導 栄養相談の実施	患者・家族・施設栄養士への対応 喫食状況確認・嗜好調査	個々にあった食事内容の実施	他職種とのコミュニケーションを充実させる
地域連携室	地域の医療機関 介護施設との連携支援	医療機関・介護施設からの速やかな受け入れ調整 患者の状態に応じた退院先への退院調整 透析を含む外来患者の他院への紹介や社会資源の紹介	患者・家族にとって納得のいく形での入退院支援を行う 医療安全を遵守した医療現場への支援 外来・病棟の看護業務に対しての後方支援を行う	引き続き外来部署・病棟・透析室・ リハビリ室等との多職種連携を行う 患者と接する部署の相談役を担う
医事課	外来業務 病棟業務	問診・休日・時間外対応 病棟窓口対応・電話対応	外来との連携を密にし、看護業務の軽減を図る 病棟との連携を密にし、看護業務の軽減を図る	看護職員との連携 事務職員の知識の向上と増員

2025年度看護職員の負担の軽減及び処遇の改善に資する計画

看護職員と多職種との役割分担に伴う計画

部署	項目	現状の取り組み	2025年度の目標	目標達成のために必要な事項
看護部	離職率の低下	採用ツールの利用 離職防止	2025年度も継続	看護補助者の確保
	看護師採用人数の増加	随時看護スタッフの募集	2025年度も継続	見学・相談会などの実施
	看護業務	電子カルテの活用 事務的作業をクランクへ移行	2025年度も継続	看護職員の負担軽減を図る
	多様な働き方	各種制度の見直し	2025年度も継続	制度周知の情報発信
経理課	妊娠・子育て 介護中の看護職員に 対する配慮	妊娠・子育て中の夜勤の減免 育児短時間制度 産休・育休・介護休暇制度	2025年度も継続 2025年度も継続 2025年度も継続	可能な限り配慮する 希望する者があれば適用 希望する者があれば適用
	年休取得率の向上	1人年間5日以上を取得 夏休み(3日間)の完全取得	2025年度も継続	部門責任者による勤務調整の配置
	超過勤務の縮小	残業時間を減らす	2025年度も継続	業務分担の適正化及び業務量の調整
	離職防止対策	メンタルケア体制を整備 定着性を高めるために 退職金制度を整備	2025年度も継続 2025年度も継続	ストレスチェックの実施 相談担当窓口の案内 中小企業退職金共済への加入
介護福祉課	患者様や患者様の 家族からの相談	・社会資源の紹介	患者様の生活背景を熟慮し、適切な支援に 繋がるような社会資源の紹介を行う	病棟・リハビリスタッフ・医療ソーシャル ワーカーから介護福祉課へケース相談 連絡・調整依頼の連絡 社会資源の情報収集
	入院時・退院時の支援	・退院後の支援方法の提案 ・介護保険制度の説明 ・退院カンファレンスへの参加 ・移送サービス事業所の紹介や手配の調整 ・自費サービスの紹介・調整	個々のケースにあわせ多支援体制確立の ための手段・介護方法等を提案する 在宅生活が継続出来るよう支援する	病棟・リハビリスタッフ・医療ソーシャル ワーカーから介護福祉課へケース相談 連絡・調整依頼の連絡 社会資源の情報収集
	行政・高齢者相談センター 介護事業所との調整・連携	・介護認定やその他情報の確認 ・高齢者相談センターへの相談 ・介護サービス事業所との調整	調整等の依頼があれば、当院の介護事業を 利用されている患者以外でも相談対応や 調整に協力する	病棟・リハビリスタッフ・医療ソーシャル ワーカーから介護福祉課へケース相談 連絡・調整依頼の連絡 引き続き外部機関との連携を行う